

千秋町連区 地域づくり協議会だより

※ 発行者 千秋町連区地域づくり協議会
一宮市千秋町佐野字郷前2762番地(千秋町出張所内)電話28-9010

定期総会開催決定

千秋町連区地域づくり協議会

★日時 4月28日(木)

午後7時開会

★会場 千秋公民館

★出席者 各種団体から選

出された部会員

連区物故者追悼会開催

3月5日(土)、慶圓寺(佐野)で、追悼会が執り行われた。1年間の間に亡くなられた方126名(一部を除く)の遺族と来賓を始め町会長ら多数が参加し、ご冥福をお祈りした。



焼香をする遺族ら

あぶななよ くらげきもちが じじいのもと

新入学児童・園児を交通事故から守ろう

新しい年度が始まり、新入学児童・園児が新しいピカピカのランドセルや制服で街中に一斉に繰り出しています。

みんなが新しい物づくめでウキウキしているこの時期、気をつけなければならないのが交通事故です。

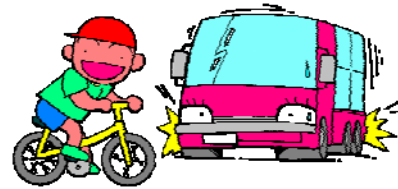
交通安全は道路を利用する一人一人が主役です。この時期に家族全員で、「交通安全」について考えてみてはいかがでしょうか。

新入学児童・園児のいる

保護者の皆様へ

お子さんと一緒に通学(園)路を歩いて、必ずお子さんの目線で危険箇所を確認してください。大人の目では安全に見える場所でも、子どもたちには大変危険な場所となることもしばしばあります。

★必ず一度立ち止まり、信号機のある場所では、信号をよく見る



★信号が「赤」や「黄色」のときは、絶対に渡らない

★青信号でもすぐに渡らない

★歩行者専用信号機がある場合には、その信号機を見て確認する

(「青点滅」のときも絶対に渡らない)

等、交通安全について説明するときにも、走ってくる車の動きに注意して横断するよう指導してください。

地域の皆さん

ドライバーの皆さんへ

これまで家の近くや保護者の周りで遊んでいた子どもたちも、学校や幼稚園などに通うようになると、行動範囲がグンと広がり、保護者の方の目の届かないところで行動も多くなり、登下校時はもとより、新しい友達の家に行ったり、一緒に遊んだりする機会が増えます。

車社会を歩き始めたばかりの子どもたちを安全に育てていくためには、他の道路利用者、特に、ドライバーの皆さんが、児童や幼児の特性を十分に理解し、思いやりのある運転を心掛けてください。



千秋中学校学校運営協議会開催

2月26日(土)、10時、千秋公民館で、千秋中学校区学校運営協議会全体会を開催しました。会長の河原毅さんから、「千秋中学校がよくなった。それはピンポイントを決めて指導がなされたから。十のことをいうより一つのことを徹底させましょう」とのあいさつがありました。それを受け、本年度の経過報告および来年度の計画案について検討をしました。



全体会終了後、各学校に分かれ、保護者・児童生徒・教師アンケート結果を提示し、委員の方から質問や忌憚のないご意見をいただきました。今後の教育活動に生かしていきます。

感動と涙 みんなで跳んだ長なわとび大会

―市総合体育館オープニングイベント―

3月5日(土)、『小学生長なわとび大会』(一宮市総合体育館オープニングイベント・市制90周年記念事業)が開催されました。一宮市内42校すべての小学校が参加をしました。

1チーム20人から40人の跳び手が、5分間に跳んだ合計回数を競いました。

大会は、体育館内のディアドラアリーナといちい信金アリーナの2か所で行われ、どちらも選手たちのかげ声や応援で熱気に包まれていました。まさに感動と涙の連続でした。

千秋3小学校の取り組みを紹介します。



(酒井直樹)

◎千秋小学校



6年生が2学期後半から、大会に向けて、体育の授業や授業後の部活動はもちろん、休み時間にも練習に励み、確実に記録を伸ばしてきました。

当日は、159回跳ぶことができました。長なわとびの記録に挑戦する中で、努力することの大切さ、チームワークなど、多くのことを学ぶことができました。

◎千秋南小学校



12月に児童会が主催したクラス対抗長なわとび大会の盛り上がりを生かそうと、6年生32名がロードレース大会後から練習に取り組みました。

当日は、157回跳ぶことができました。「みんなといっしょにとべてよかった」「たくさんとべて楽しかった」「新しい体育館はきれいだった」「卒業に向けていい思い出になった」といった感想を持ちました。

◎千秋東小学校



6年生26名が参加しました。当日は143回跳ぶことができ、これまでの最高記録が出ました。

本校では、2月7日、23日の中間放課に「全校わくわくなわとび」を行いました。全校が取り組むことで「みんなが頑張る」体験をしました。長なわとびを通して、学級全員の心を合わせることの大切さに気づき、学級のつながりが強くなりました。

児童育成協議会総会開催

2月27日(日)、千秋公民館で平成22・23年度一宮市千秋町連区児童育成協議会総会が開催された。

22年度の事業報告等が承認された後、23年度の役員選出と事業計画等の案が承認された。

当面のイベント予定は次のとおり。

- ・5月8日(日)子どもフェスティバル(千秋小学校)
- ・5月14日(土)花祭り(瑞仁寺 加茂)



平成23年度 千秋町連区児童育成協議会役員名簿

会 長	小笠原義廣	副 会 長	寺澤明司
指 導 部 長	柴山和子	同 副 部 長	山形智代
育 成 部 長	伊藤祐子	同 副 部 長	児島千香子
体 育 部 長	田中 薫	同 副 部 長	酒井由美子
安全指導部長	田中 薫	同 副 部 長	酒井由美子
会 計	岩田由紀子	会 計	武藤広美
書 記	伊藤祐子	書 記	児島千香子
監 査	吉田理佐子	監 査	杉本初美

インディアカ大会開催

2月20日(日)、千秋南小学校屋内運動場で千秋公民館主催のインディアカ大会が開催された。

インディアカは羽根付ボールを手で打ち合うバレーボールタイプのスポーツ。今回で20回目を向かえた大会には5チームが参加し、熱戦が繰り広げられ、千秋南



チームが優勝の栄冠を手にした。(真野良博)

ママ！ 大勝利

ママさんサッカーチーム



平成23年1月30日から同年2月5日の2週にわたり一宮市光明寺グラウンドで第23回一宮・中日サッカースクール冬季大会「ママさんの部」が開催された。

大会は出場9チームのトーナメントで行われ千秋町チームが優勝の栄冠を手にした。(真野良博)

家事、育児などの忙しい合間を利用して練習を積み上げてきたが、チームメイトの励ましや家族みんなの理解に支えられたおかげで優勝と言う成果を成し遂げた。

有終の美

佐藤佳代さん「メンバー全員が必勝を誓い、迎えた決勝戦」。得点差わずか1点差の緊迫する試



合となり、終了を告げるホイッスルを聞いた瞬間。私の引退試合で優勝と言う花道を作ってくれた「千秋MINS」の仲間達、6年前サッカーを誘ってくれた先輩ママ達、陰で支えてくれた家族など、すべての人に感謝でいっぱいになり、熱いものが込み上げました。仲間みんなと一緒にプレー出来たことに幸せを感じ、誇りに思っています。(中村光弘)

地域の安全を担って

千秋安全パトロール隊



近年、「自分の身は自分で守る」時代になってきている。そのような中、「千秋を安全安心なまちにするため千秋安全パトロール隊が活動している。

広報車を使った声による呼び掛けと青色回転灯装備車15台を利用し、60名の隊員が2〜3人の班を編成し、都合のよい時間帯に千秋町

全体を巡回している。

子どもの見守りについては、登下校時に徒歩による見守りを行っている。(写真)

また、毎月6日(ロックの日)を防犯の日とし、さらに第4木曜日も含わせて午後8時から1時間千秋町全体を巡回している。

犯罪抑止を狙って

荒川パトロール隊長

町民の「安全な地域をつくる」という意識を高め、行政の手の届かない末端での自主的活動の強化をしなければならぬと考えており、町民に広報活動を通じて呼びかけることは勿論、日夜を問わず巡回することが犯罪や事故の未然防止になると確信している。(眞野幸雄)

千秋町交通安全会がおくる

プレゼントクイズ

	1	9	2			7		4
4					1	2		
2					3			5
9		4			7			2
	2		6	8		1		4
5								6
8			1		6			9
1	4	5	8			6		2
					2			1

好評につき、今回も海外でも人気のあるパズルゲーム(ナンプレ)をプレゼントクイズとしてお届けします。

賞品を3倍に増やしましたので、当たる確立も3倍になりました。

楽しく解けるナンプレに挑戦してください。

★ルール

全てのタテ・ヨコ・太枠内に1〜9が一つずつ入るように、数字を記入してください。

★賞品

正解者の中から抽選で30名の方に、反射ペットボトルケースを差し上げます。

中身は入っておりませんのであしからず。

なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



★応募方法・締め切り

この用紙、またはコピーしたものに記入し、お名前とご住所を下段に記入して4月8日(金)までに、FAX(76-0099)または千秋町出張所にご持参ください。

お名前

ご住所
